

株主のみなさまへ



第164期 中間報告書

2023年4月1日から2023年9月30日まで



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当(期末配当金)の基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
インターネットホームページ	https://www.tr.mufg.jp/
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.nozawa-kobe.co.jp 不測の事態により電子公告によることができない場合は、 日本経済新聞・神戸新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場

株式に関するお手続きについて

お手続きの内容	お手続き・お問い合わせ先
●お取引の証券会社等の口座で管理されている 当社株式に関する配当金振込指定、単元未満株式 買取請求、住所変更等のお手続き	お取引口座を開設されている証券会社
●未受領の配当金に関するお手続き ●特別口座で管理されている当社株式に関する 配当金振込指定、単元未満株式買取請求、住所 変更等のお手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)

特別口座 について

特別口座では、株式のご売却はできません。
証券会社に口座を開設いただき、お持ちの株式を当該口座に振り替えていただきますと、
株式のご売却が可能となるばかりでなく、お持ちの株式の管理や株式に関するお手続きも
当該証券会社で一括して行えるようになります。

この報告書についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

お問い合わせ <https://www.nozawa-kobe.co.jp/ir/mail.php>



この報告書は、環境に配慮
した植物油インキを使って
印刷しています。

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第164期中間期(2023年4月1日から2023年9月30日まで)の「中間報告書」をお届けいたしますので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

2023年12月



代表取締役社長 野澤 俊也

当第2四半期の取り組みと業績

当第2四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、**経常利益ベースでは前年同期比増収増益。最終利益は前年同期比減益。**

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復が続いているものの、各国中央銀行の利上げが続くなか依然としてインフレ圧力が残存し、先行き不透明感を強めて推移しました。建築材料業界におきましても、こうした物価上昇を背景とした原材料等エネルギー価格の高騰の継続により、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、「やすらぎと安心の創造」のコーポレートメッセージのもと、環境負荷低減と施工現場省力化を実現し社会に貢献するとともに、お客様のニーズに応える商品の拡充を図りました。

当第2四半期連結累計期間においては、主力の押出成形セメント板「アスロック」の新しいデザインパネル「ソレイ

ユライン」を本年5月に発売しました。「ソレイユライン」は、壁面緑化商品として販売している「アスロックグリーンウォールビルトインタイプ」の基材をデザインパネルとして商品化したものです。ヒマワリの花のようなリブ先端のデザインと、押出成形セメント板史上最も高い40mmというリブ高さが特徴で、長大なリブの陰影が壁面に重厚感と深みをもたらします。また、アルミパネルなどの大型仕上げ材を取り付けることができる「レールファスナーストロング」に高耐力留付仕様「Rクリップ+NVナット」を本年8月に追加しました。この仕様追加により、弱点であった風圧力に対する留付耐力が約1.4倍向上し、負風圧力4,000Paとした場合パネルの使用可能長さが約1,300mm延長され、階高の高い建物への適用が可能となります。

主力の押出成形セメント板「アスロック」の売上高は、高付加価値商品である「工場塗装品」の販売が増加

したこと等から前年同期比増収となりました。住宅用商品については高遮音床材・軽量外壁材ともに増加して売上高は前年同期比増収、ボードについても内装用途の「フレキシブルシート素地シリーズ」が伸長し増収となりました。

生産部門では、押出成形セメント板の旺盛な需要に対応すべく、NNPS(ノザワ・ニュー・プロダクション・システム)による改善活動を推進し、出来高向上に注力するとともに、原材料・エネルギーの有効活用に継続して取り組み、コストダウンに努めました。

管理部門では、従業員の健康管理を経営的な視点で捉え、兵庫県が推進する「健康づくりチャレンジ企業」に登録し、従業員や家族の健康づくり支援に取り組みました。

これらの結果、品種別売上高については、主力の押出成形セメント板「アスロック」は57億98百万円(前年同期比17.8%増加)、住宅用高遮音床材は10億10百万円(前年同期比8.7%増加)、住宅用軽量外壁材は22億73百万円(前年同期比35.4%増加)となり、押出成形セメント製品合計では90億83百万円(前年同期比20.6%増加)に、耐火被覆等は8億56百万円(前年同期比22.7%増加)、スレート関連は4億59百万円(前年同期比16.1%増加)となったこと等から、当第2四半期連結累計期間の売上高は120億28百万円(前年同期比17.7%増加)となりました。

利益面については、原材料価格の上昇及びベースアップを実施したこと等による人件費の増加により製造原価増となりましたが、工場でのNNPS(ノザワ・ニュー・プロダクション・システム)改善活動による原材料・エネルギーの

有効活用等による取り組み及びその他のコストダウン効果等により原価アップを圧縮するとともに、押出成形セメント製品・スレートボードの販売が堅調に推移、これらの販売数量増及び価格改定により、営業利益は10億40百万円(前年同期比72.4%増加)、経常利益は11億49百万円(前年同期比61.5%増加)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、特別損失に訴訟損失3億76百万円を計上したこと等から3億20百万円(前年同期比22.9%減少)となりました。

通期の見通し

下期の「アスロック」販売につきましては、前年同期を超える水準で推移するものと見ており、住宅向け商品などその他の販売口売上高につきましても、堅調を維持するものと見込まれます。一方、工事売上高については受注減少による下振れが懸念されます。利益面では、下期も押出成形セメント製品の販売増や価格改定による増益が見込まれる一方で、円安や原材料・エネルギー価格のさらなる上昇等、原価の悪化懸念が存在しております。

これらのことから、2024年3月期の連結業績は本年8月4日公表の連結業績予想を据え置き、売上高235億円、営業利益19億30百万円、経常利益19億80百万円、親会社株主に帰属する当期純利益9億30百万円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2027年の創業130周年に向け、経営基盤の強化と事業の更なる発展を図るため、いつも新しいことを追求、「全社3大戦略プラスONE」を展開し、全領域での差別化を推進しています。

この取り組みについてQ&A形式にてご説明します。



Q 飛躍成長戦略の取り組みを教えてください。

A

慢性的な人手不足に応える現場での追加作業を必要としない商品、災害時に人々の生活と安全を守る耐火、耐震、高耐久、高強度な商品、日常生活において快適な住環境を提供するデザイン性が高く、多くの仕上げバリエーションを持つ商品など、お客様への訴求力を高める新商品開発に注力しています。また、現在最も注目されている温室効果ガス削減にさらに貢献する技術や商品の開発を並行して実施しています。

Q 収益拡大戦略の取り組みを教えてください。

A

建設計画のできるだけ早い段階から施主や設計者にアプローチし、当社オリジナル商品や高付加価値商品の提案と質の高い技術サービスの提供により、当社商品を選んでいただきます。設計図に当社の商品名を指定いただき、採用いただくことで収益拡大につなげます。また、環境重視の社会状況下において、環境負荷低減をコンセプトにした環境配慮商品の拡販にも注力し、収益拡大に取り組んでいます。

Q 昨今の原材料・エネルギー価格高騰に対して、どのように対応していますか。

A

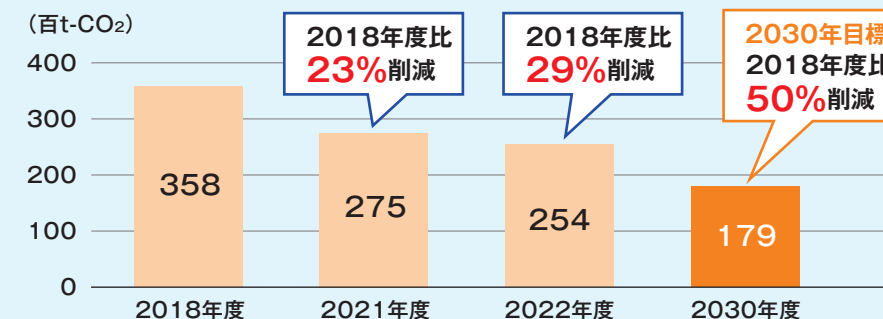
複数社購買、物流改善及び NNPS（ノザワ・ニュー・プロダクション・システム）による、時間当たりの生産量向上、高騰する原材料をムダにしない改善活動、電気・ガスの使用を減らす高効率運転により、コスト削減に努めています。また、自助努力だけでは吸収が困難と判断したことから、「アスロック」全商品の販売価格の値上げを、2022年6月契約分より実施しています。

Q プラスONEの取り組みを教えてください。

A

「E:環境」カーボンニュートラルの実現への取り組みとして、2022年12月にSBTイニシアチブの認定を取得し、2030年度温室効果ガス削減目標2018年度比50%削減に向け、2022年度は温室効果ガス排出量を2018年度比29%削減、2030年度目標に対して目標達成率58%となり、順調に排出量を削減しています。

■ 温室効果ガス排出削減目標に対する進捗

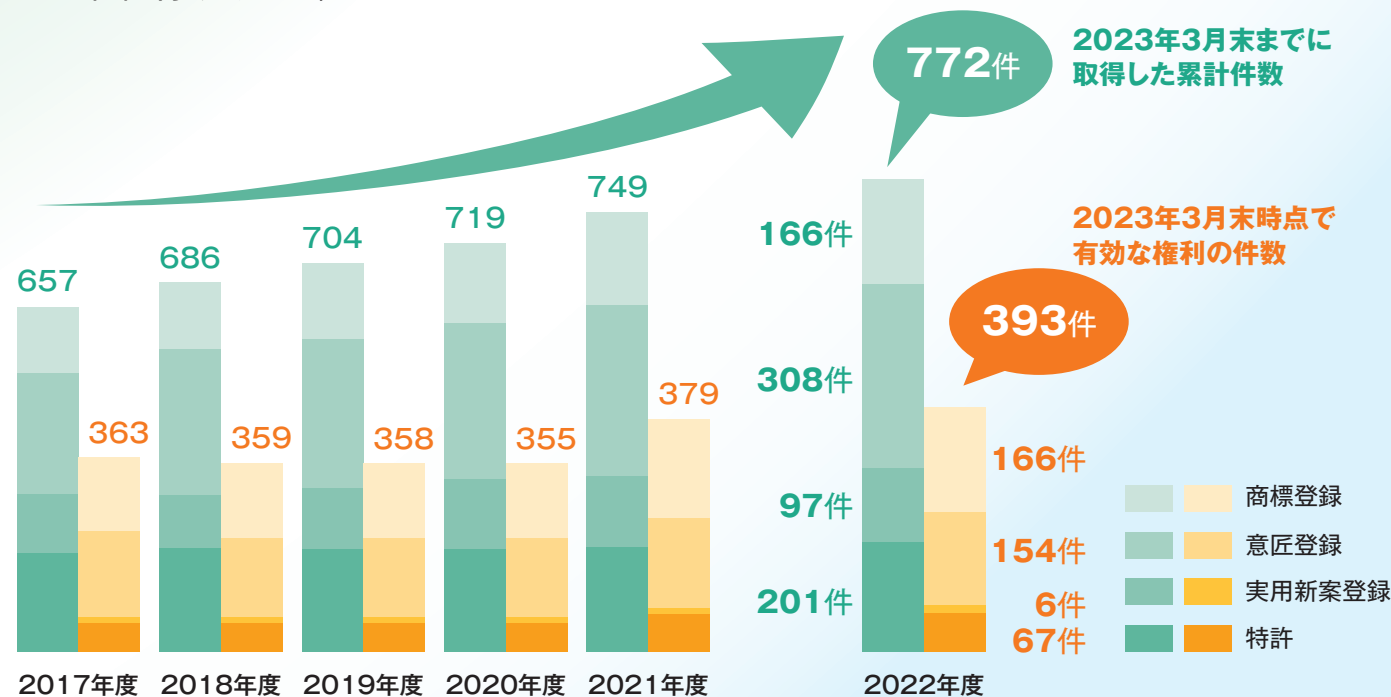


ノザワの知的財産 — 常に新しいことを —

知的財産については、法務・知的財産室をリスク対策部内に設置し、研究開発活動において得られた基本技術及び周辺技術（特許、実用新案登録）、デザイン（意匠登録）並びにブランド（商標登録）を事業展開に合わせて出願し、権利化を行っています。

「創業来の遺伝子」の一つ「常に新しいことを」を実践した結果、2023年3月末までの知的財産取得累計件数は**772件**となりました。なお、2023年3月末時点で有効な権利の件数は**393件**です。

取得した知的財産は、「全社3大戦略プラスONE」を進めていくうえで、重要な要素と位置付けています。

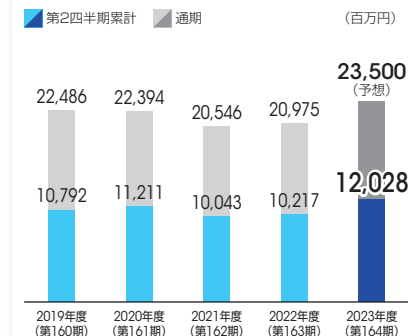


連結財務ハイライト

売上高

12,028 百万円

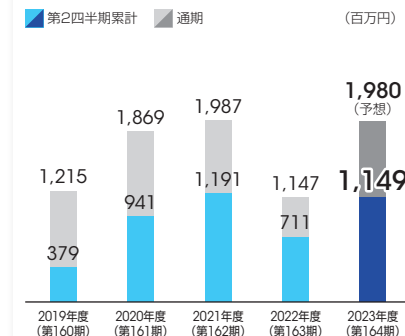
前年同期比 17.7% 増 ↑



経常利益

1,149 百万円

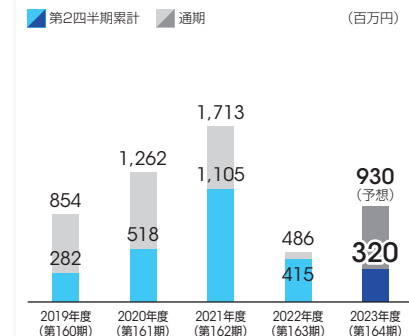
前年同期比 61.5% 増 ↑



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益

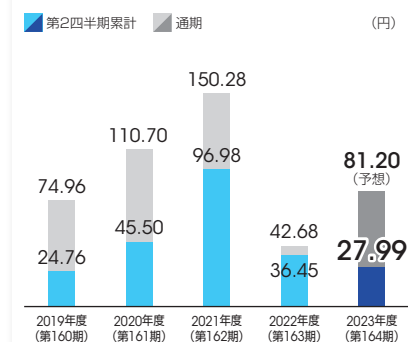
320 百万円

前年同期比 22.9% 減 ↓



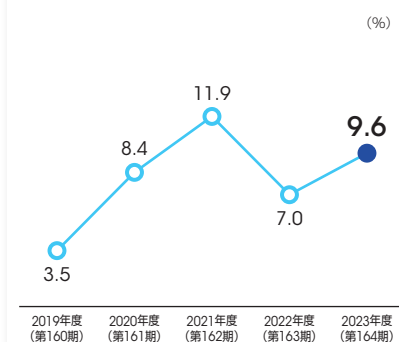
1株当たり四半期(当期)純利益

27.99 円



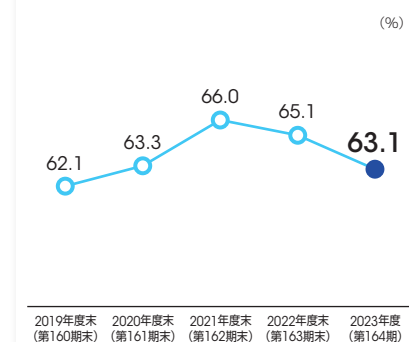
売上高経常利益率 (第2四半期累計)

9.6 %



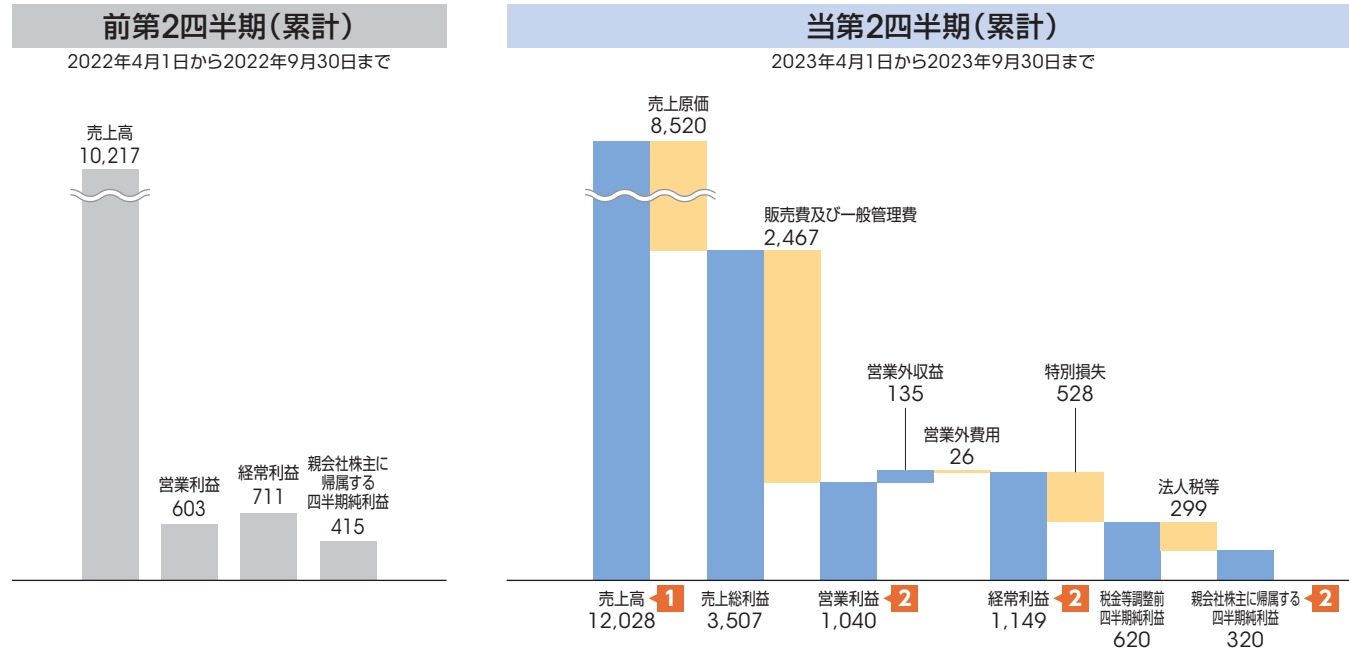
自己資本比率

63.1 %



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



POINT

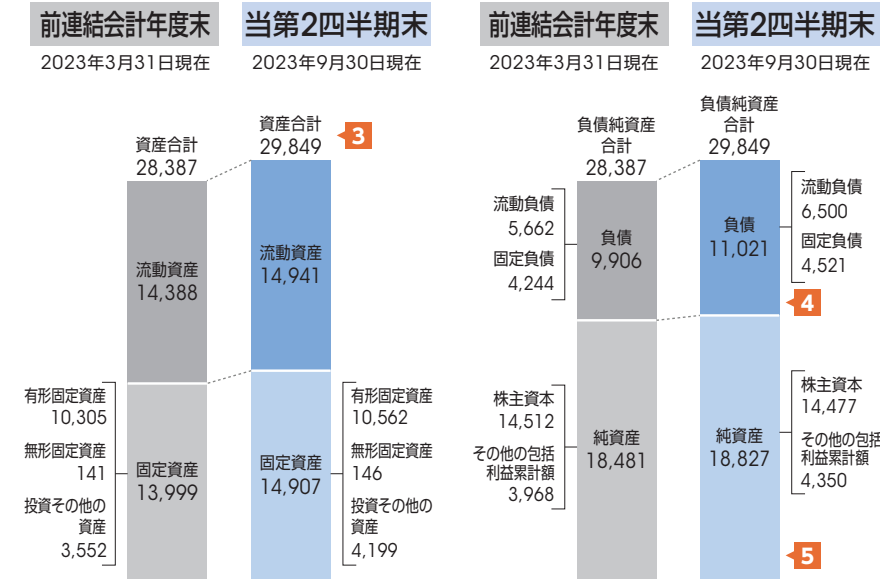
1 売上高の状況

品種別売上高については、主力の押出成形セメント板「アスロック」は57億98百万円(前年同期比17.8%増加)、住宅用高遮音床材は10億10百万円(前年同期比8.7%増加)、住宅用軽量外壁材は22億73百万円(前年同期比35.4%増加)となり、押出成形セメント製品合計では90億83百万円(前年同期比20.6%増加)に、耐火被覆等は8億56百万円(前年同期比22.7%増加)、スレート関連は4億59百万円(前年同期比16.1%増加)となったこと等から、当第2四半期連結累計期間の売上高は120億28百万円(前年同期比17.7%増加)となりました。

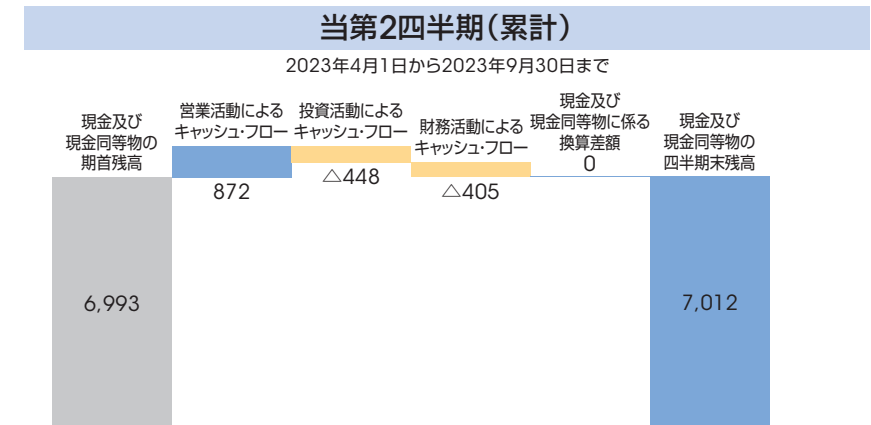
2 利益の状況

原材料価格の上昇及びベースアップを実施したこと等による人件費の増加により製造原価増となりましたが、工場でのNNPS(ノザワ・ニュー・プロダクション・システム)改善活動による原材料・エネルギーの有効活用等による取り組み及びその他のコストダウン効果等により原価アップを圧縮するとともに、押出成形セメント製品・スレートボードの販売が堅調に推移、これらの販売数量増及び価格改定により、営業利益は10億40百万円(前年同期比72.4%増加)、経常利益は11億49百万円(前年同期比61.5%増加)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、特別損失に訴訟損失3億76百万円を計上したこと等から3億20百万円(前年同期比22.9%減少)となりました。

四半期連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



POINT

3 資産の状況

「投資有価証券」が5億12百万円、「受取手形、売掛金及び契約資産」が4億73百万円、「有形固定資産」が2億56百万円増加したこと等から、「資産合計」は前連結会計年度末に比べ14億61百万円増加となりました。

4 負債の状況

「支払手形及び買掛金」が5億77百万円、「訴訟損失引当金」が3億28百万円、「未払法人税等」が85百万円増加したこと等から前連結会計年度末に比べ11億14百万円増加となりました。

5 純資産の状況

「利益剰余金」が78百万円減少したものの、「その他有価証券評価差額金」が3億52百万円増加したこと等から前連結会計年度末に比べ3億46百万円増加となりました。

6 連結キャッシュ・フロー計算書の状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権増加による5億51百万円の資金の減少要因があった一方、仕入債務6億82百万円、税金等調整前四半期純利益6億20百万円等の資金の増加要因があったこと等により8億72百万円の増加となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による4億41百万円の資金の減少要因があったこと等により4億48百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、親会社による配当金の支払による3億97百万円等の資金の減少要因があったこと等により4億5百万円の減少となりました。

この結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は70億12百万円となり前連結会計年度末に比べ19百万円増加しました。

会社概要 (2023年9月30日現在)

社 名 株式会社ノザワ
NOZAWA CORPORATION

創 業 1897年8月17日

設 立 1913年9月28日

資 本 金 24億4,900万円

従業員数 356名（連結）

子 会 社 株式会社ノザワ商事
株式会社ノザワトレーディング
野澤貿易（上海）有限公司

役員 (2023年9月30日現在)

代表取締役社長 野 澤 俊 也

専 務 取 締 役 三 浦 竜 一

常 務 取 締 役 米 田 剛

常 務 取 締 役 邑 橋 将 男

常 務 取 締 役 松 村 正 昭

取 締 役 濱 本 康 二

取 締 役 藤 井 邦 彦

社 外 取 締 役 小 鹿 彦 太

社 外 取 締 役 吉 田 裕 樹

常 勤 監 査 役 金 井 一 弘

社 外 監 査 役 吉 田 眞 明

社 外 監 査 役 小 川 佳 男

ネットワーク (2023年10月1日現在)

●本社 〒650-0035 神戸市中央区浪花町15番地 TEL 078-333-4111(代)

●支店・営業所

札幌支店 札幌市中央区大通西1-14-2（桂和大通ビル50）

仙台支店 仙台市青葉区一番町2-8-15（太陽生命仙台ビル）

東京支店 東京都中央区新川1-4-1（住友不動産六甲ビル）

名古屋支店 名古屋市中区錦2-4-15（ORE錦2丁目ビル）

関西支店 神戸市中央区浪花町15番地

広島支店 広島市中区小町3-25（三共広島ビル）

松山営業所 松山市大手町2-9-4（石丸ビル）

九州支店 福岡市博多区博多駅前1-4-4（東京建物博多ビル）



本社

札幌支店

仙台支店

東京支店

名古屋支店

関西支店

広島支店

松山営業所

九州支店

野澤貿易(上海)有限公司

●研究所
技術研究所 埼玉県深谷市折之口1851-4

●工場
フラノ事業所 北海道富良野市山部東町4-1
埼玉工場 埼玉県比企郡吉見町長谷1947
播州工場 兵庫県加古郡播磨町古宮字小谷102-1
高砂工場 兵庫県高砂市高須1-1

●海外関連会社
野澤貿易(上海)有限公司
中国上海市長寧区天山路8号 上海兆益科技园 702B室

(2023年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 30,000,000株

発行済株式の総数 12,075,000株

株 主 数 3,832名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社三井住友銀行	567	4.95
神栄株式会社	486	4.24
ノザワ取引先持株会	485	4.23
日本生命保険相互会社	436	3.80
損害保険ジャパン株式会社	398	3.47
C B C 株式会社	301	2.63
日工株式会社	284	2.47
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	262	2.29
株式会社トクヤマ	262	2.29
ノザワ従業員持株会	243	2.12

(注) 持株比率は自己株式（613,485株）を控除して計算しております。

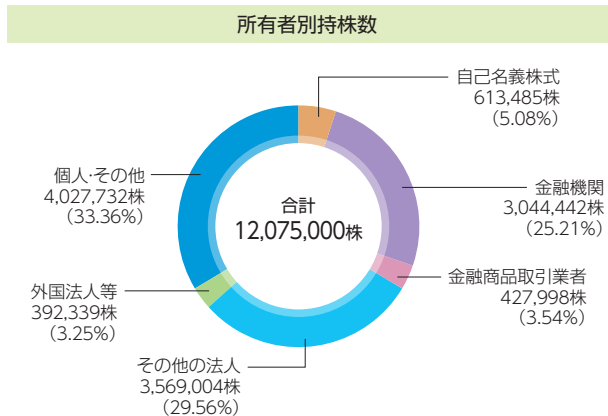
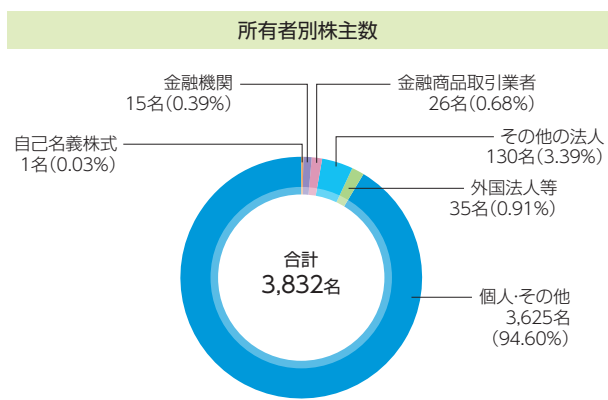
ホームページのご案内

URL <https://www.nozawa-kobe.co.jp>
当社ホームページでは、株主・投資家の皆様にわかりやすい情報発信に努めてまいります。

URL <https://www.asloc.co.jp>
押出成形セメント板「アスロック」の特設サイトです。

URL <https://www.nozawa-kobe.co.jp/alcus/>
超高層建築向けカーテンウォール「アルカス」の特設サイトです。

株式分布状況



アスロック公式SNSのご案内

アスロック公式Instagram
アカウント名: @asloc_official
URL: https://www.instagram.com/asloc_official/

YouTubeアスロック公式チャンネル
チャンネル名: アスロック公式チャンネル
URL: <https://www.youtube.com/channel/UCMtr-PyR5pQQd8MVRzFeVIQ/>